

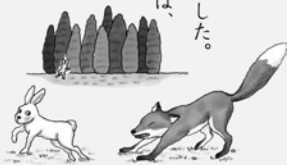
よみとり

3 「おねの「わがわが」」

こんかいのおはなし
おなかを すかした きつねが、
うさぎを とって、たべようと
しています。

きつねは、子うさぎに、
おそいかりました。
その とき、おかあさんうさぎが
とび出しました。
足を ひきずって います。
「この うさぎの ほうが
とりやすいぞ。」

きつねは、おかあさんうさぎに
とびかかりました。
その あいだに、子うさぎは、林の
中へ にげました。
それを 見た
おかあさんうさぎは、
いそいで にげ出しました。
おかあさんうさぎは、
足の わるい
まねを して、
子うさぎを
たすけたのです。



おねのなかへ 場面のおはなしの
場面の様子・登場人物の気持ちを
事柄の順序を読み取る。

月 日

1
——で、足を ひきずって
いるのは なんの ためですか。
文しよの 中の ことばで
こたえましよう。

足のわるい

子うさぎ

2
たすけるため。
つぎの 文が、上の 文しよに
かかれて いる じゆんに
なるように、() に すう字を
かきましよう。

- (1) おかあさんうさぎが
きつねの まえに とび出す。
- (2) 子うさぎが 林の 中に
にげる。
- (3) おかあさんうさぎが
いそいで にげ出す。

出典 小学館「おねのなか」
場面のおはなしの順序を読み取る。

はげましスタンプ

今回の学習のねらい

- 場面の様子・登場人物の気持ちを
読み取る。
- 事柄の順序を読み取る。

支援のポイント

1 主語が省略された文ですので、ま
ずは主語がだれなのか(だれが足をひ
きずっているのか)を考えさせます。
直前の文に着目すれば、「おかあさん
うさぎ」が「足をひきずって」きつね
の前に「とび出し」たことがわかるで
しょう。そのうえで、おかあさんうさ
ぎについて書かれているところを、問
題文から探していくように声をかけて
あげてください。

2 あまりなじみのない問題の形式で
すので、設問自体の意味がわかりにく
い場合があるかもしれません。そのよ
うな場合には、「上のお話と順番が同
じになるように、この三つの文を並べ
替えるんだよ。それで、その順番がわ
かるように、数字を書いていけばいい
よ。」などと補足説明をしてあげてく
ださい。問題を解くことに不慣れな小
学一年生の場合、見慣れない形式の問
題に出会うと戸惑ってしまうことがあ
ります。設問の意図を読み取ることも
読解力の一部ですが、今の段階では支
援をあげてかまいません。

ほめ方のポイント

1 この文章のポイントとなる設問で
す。できなかつた場合は、おかあさん
うさぎの行動を順に確認させてくださ
い。そうすれば、何のために足をひき
ずっているのかを説明した最後の一文
にたどりつきます。

ただし、問題文では「たすけたの
です。」と、単に事実を述べるだけの
形になっているのに対し、設問は理由
を答える問題になっている点で、小学
一年生の子どもにとってはやや難しい
問題です。また、傍線部のすぐそばに
答えに該当する箇所がない点や、傍線
部だけを見ても主語がわからない点
も、難しく感じることでしょう。

ですから、できなかつた場合には、
お子さまが何につまずいたのかを把握
するようにしてください。そのうえで、
お子さまのつまずきに応じた説明をし
ていただくとういでしょう。
2 順序を正しくとらえることは、論
理的思考の第一歩と言えます。この問
題をまちがえてしまった場合には、選
択肢一つ一つについて、その内容が書
かれている箇所を問題文から探し、印
をつけるとういでしょう。設問で問わ
れていることが問題文のどこに書いて
あるかを確認する習慣をつけると、読
解問題に取り組みやすくなります。